

平成20年度 事業報告

自 平成20年4月 1日
至 平成21年3月31日

< 事業の概況 >

平成20年度は2度に渡る大地震の風評被害、石油価格の高騰による観光客の減少、更には世界的な経済不況の影響により盛岡地域の地場産業界は大きな打撃を受けた年となりましたが、地場産業振興センターは盛岡市をはじめ関係機関のみなさまのご支援、ご協力を賜り、諸般の事業を無事遂行することができました。昨年5月5日には昭和61年のオープン以来、展示資料室の入場者が100万人に達し、記念セレモニーを開催した他、ロビーで展開している産直マルシェも2周年を迎え記念のオリジナルのエコバックやオリジナルのランチなども販売しました。また、野菜ソムリエの先生と一緒に盛岡市内の幼稚園や保育園を訪問し、食育に関する催し物の実施、砂子沢の農家と一緒に取り組んでいるアロニア（もりおかベリー）を使った商品の販売などで、新聞やテレビなどマスコミ関係者にも大いに地場産センターをPRしました。

盛岡市から委託を受けております「盛岡ブランド」特産品事務局も3年目となりましたが、認証商品も増えた他、新たに関西でのブランドフェアも開催し好評を博しました。更には、大地震の風評被害や燃料高騰による地場産品販売の減少に歯止めをかけるため、フェザンでの長期出展や夏休み期間の営業時間の延長、県内外で開催される物産展・各種大会への出展なども積極的に行いました。その他、地域住民に好評なお菓子教室やフラワーアレンジメント、野菜ソムリエ料理講座なども定期的に行い、盛岡手づくり村のファンづくりにも努めた他、夏休み・冬休みには構成市町村の教育委員会を通じ、子供たちを対象にした特別手づくり体験教室の開催や、通年で楽しいお祭りなども実施しました。

1. 地場産業振興事業

盛岡広域圏内の地場産業振興のため、地場産品の普及・宣伝を図る需要開拓事業や、地場産業との触れあいの場を提供する体験学習事業・交流促進事業を、展示即売室の運営や全国地場産フェアをはじめとする物産展への出展販売、手づくり教室や各種講座の開催、イベント等により実施した。

また、振興センター機能の一層の充実を図り、関係機関等と連携しながら、地場産品情報の受発信、後継者育成支援等を積極的に行い地域中小企業の活性化に努めた。

(1) 需要開拓事業

全国各地の振興センターやデパート等の物産展に出展し、盛岡地域地場産品の宣伝・紹介に努めるとともに、積極的に施設のPRを行うことで来場者の増大を図りました。

また、季節ギフトのカタログや修学旅行向け「特撰土産カタログ」を作

成し、地場産品の販路拡大に努めました。

その他、インターネットショップ（楽天市場）における「盛岡市産業まつり」の運営においては、出展者を募り、より多くの業界関係者に利用していただきました。ショップ内においては、プレゼント企画を定期的開催し、地場産品の販路拡大と顧客確保に努めました。

即売室内においては、お買い上げ感謝セール（年3回5月・8月・2月）等を行い、お客様へのサービスの向上に努めました。

展示即売事業

- ・ 各出展業者に POS システムの情報を提供し、即売室内の商品の充実を図った。
- ・ 展示即売室の商品ディスプレイなどの改善を行い、お客様の足をとめていただく小間づくりを目指した。
- ・ POS システムの情報を基に、各出展業者に展示即売室売上情報の提供を行ない、陳列台（小間）内の商品構成の見直しを行なった。
- ・ 中元・歳暮時期に、即売室内にギフトコーナーを設けるとともに、セールスを行い、販売促進に努めた。
- ・ 商品 P O P を充実させ、買い手の立場にたった親切な売り場づくりを目指した。
- ・ 消費者ニーズを捉え、新しい商品を開拓し、消費者に向け商品の PR を行なった。
- ・ 積極的に試食販売を行い、商品を PR し地場産品の普及に努めた。
- ・ 振興センターのロビーを活用し、積極的な販売を行なった。
- ・ 季節ギフトカタログの作成（年2回）
- ・ バーチャル「盛岡市産業まつり」(<http://www.rakuten.co.jp/morioka/>)の運営
- ・ お買い上げ感謝抽選会の開催
- ・ 旅行エージェントに対するショッピング手数料の導入による大口ツアーの誘致

< 展示即売室の利用状況 >

- ・ 利用者数 76,237 人
- ・ 利用率 15.1%

物産展・展示会への出展

< 全国センター物産展出品参加 >

- ・ 「2008 全国地場産品フェア」
期間：平成 20 年 8 月 8 日～10 日
主催：高岡地域地場産業振興センター
- ・ 「全国特産品フェア in 富士川」
期間：平成 20 年 8 月 13 日～17 日

主催：山梨県富士川地域地場産業振興センター

- ・「開館 25 周年全国自慢の逸品フェスタ」
期間：平成 20 年 10 月 25 日・26 日
主催：十日町地域地場産業振興センター
- ・「富士川の郷秋まつり」
期間：平成 20 年 11 月 2 日・3 日
主催：山梨県富士川地域地場産業振興センター
- ・「じばさんフェア '08「全国ふるさと自慢フェア」」
期間：平成 20 年 11 月 8 日・9 日
主催：山口・防府地域工芸地場産業振興センター

< 全国センター常設展示場における工芸品の販売（通年） >

- ・ 八戸・桐生・堺市・三重北勢地域地場産業振興センター

< 県内各地物産展出展参加 >

- ・「盛岡フェア」
期間：平成 20 年 4 月 18 日～20 日
会場：ジャスコ盛岡店
- ・「いわてものづくり市」
期間：平成 20 年 4 月 25 日～29 日
会場：ジャスコ盛岡店
- ・「岩電展示即売会」
期間：平成 20 年 4 月 26 日・27 日
会場：流通センター 岩電
- ・「手づくり村お土産コーナー」
期間：平成 20 年 5 月 1 日～6 日
会場：ジャスコ盛岡店
- ・「盛岡フェア」
期間：平成 20 年 5 月 30 日～6 月 1 日
会場：ジャスコ盛岡店
- ・「岩手県保健推進委員会代表者協議会総会」
期間：平成 20 年 6 月 4 日
会場：都南キャラホール
- ・「ペットフェア」
期間：平成 20 年 6 月 21 日・22 日
会場：岩手産業文化センター（アピオ）
- ・「盛岡手づくり村がサティにやって来た！！」
期間：平成 20 年 8 月 1 日～17 日
会場：盛岡南サティ
- ・「盛岡手づくり村展」
期間：平成 20 年 8 月 8 日～31 日

- 会場：フェザン
- ・「中学・高校合唱コンクール東北大会」
期間：平成 20 年 9 月 26 日～28 日
会場：岩手県民会館
 - ・「沖縄県うるま市と盛岡市物産展」
期間：平成 20 年 10 月 17 日～21 日
会場：ジャスコ盛岡店
 - ・「滋賀県高島市物産交流フェア」
期間：平成 20 年 10 月 17 日～11 月 4 日
会場：振興センター
 - ・「朝市サミット」
期間：平成 20 年 10 月 18 日・19 日
会場：アイスアリーナ
 - ・「老人クラブ大会」
期間：平成 20 年 10 月 22 日
会場：都南キャラホール
 - ・「第 28 回盛岡市産業まつり」
期間：平成 20 年 10 月 22 日～27 日
会場：川徳デパート
 - ・「いわて食材の日 盛岡フェア」
期間：平成 20 年 10 月 24 日～26 日
会場：盛岡南サティ
 - ・「岩電展示即売会」
期間：平成 20 年 10 月 25 日・26 日
会場：流通センター 岩電
 - ・「お歳暮コーナー」
期間：平成 20 年 11 月 22 日～平成 21 年 1 月 6 日
会場：ジャスコ盛岡店
 - ・「手づくり村ギフトコーナー」
期間：平成 20 年 12 月 14 日～平成 21 年 1 月 6 日
会場：盛岡南サティ
 - ・「第 23 回全国わんこそば選手権」
期間：平成 20 年 11 月 9 日
会場：盛岡劇場
 - ・「日本獣医師大会」
期間：平成 21 年 1 月 22 日～24 日
会場：盛岡マリオス
 - ・「日本生態学会」
期間：平成 21 年 3 月 17 日～21 日
会場：岩手県立大学

< 県外各種物産展参加 >

- ・ 「岩手県盛岡市物産交流フェア」
期間：平成 20 年 10 月 17 日～11 月 4 日
会場：滋賀県高島市 道の駅藤樹の里あどがわ
- ・ 「文京博覧会 2008 物産展ボランティアまつり」
期間：平成 20 年 11 月 8 日～10 日、11 月 16 日
会場：東京都文京区
- ・ 「盛岡手づくり村展」
期間：平成 20 年 11 月 17 日～23 日
会場：府中市 京王アートマン

< アンテナショップ等における販売 >

- ・ もりおか啄木・賢治青春館
出品物：鉄器・木工・陶器・駄菓子

< インターネット「楽天市場」バーチャル産業まつり >

- 期 間：平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日
出品物：食品・民芸品等 450 アイテム

< 記念品・特注品受注 >

- ・ 盛岡市関係、その他

(2) 体験学習事業

体験学習利用者の多くを占める修学旅行団体誘致を図るため、北海道道南地区、札幌地区、首都圏、関西圏の修学旅行誘致説明会に参加し、盛岡手づくり村体験学習の PR 活動を行った。

また、市民向け講座では菓子教室や料理教室、野菜料理講習会やフラワーアレンジメント講習会等、多彩な講座を開催し、地域住民の手づくり村利用促進と話題づくりを図った。

手づくり教室の開催（通年）

- ・ 陶器、染物、竹細工、わら細工、木工玩具、ホームスパン、こけし
絵付、陶器絵付、木の実細工、盛岡冷麺（10 種類のコース）
- 団体体験学習の動向の把握及び全国の旅行代理店、学校等を対象とした誘致 PR
- ・ 岩手県修学旅行誘致説明会における PR 活動（北海道・東京・大阪・名古屋）

修学旅行の下見に来る学校、団体等の受け入れ

修学旅行団体ニーズの高まる農業体験 受入機関などとの連携強化
お菓子づくり教室、フラワーアレンジメント講座等の市民向け講座の開催

(3) 交流促進事業

関連業界との共催など、小予算でも効果の高い催しを研究しながら下記のイベントや物産展を開催し、盛岡手づくり村並びに地場産業界と地域住民との交流促進を図った。

また、施設の有効活用と業界支援を図るため地場産業界、各組合等の催事利用並びに催事開催を支援した。

季節イベント、日曜、祝日イベント等の開催

- ・盛岡手づくり村春まつり (5月)
- ・盛岡手づくり村チャグチャグ馬コ記念行事 (6月)
- ・盛岡手づくり村夏まつり (8月)
- ・いわてもりおか食文化フェア (10月)
- ・盛岡手づくり村お正月特別催事 (1月)
- ・岩手の清酒フェア (2月)
- ・盛岡手づくり村節句行事 (3月)

関連業界、団体等の催事利用の推進、支援

- ・2008 盛岡手づくり村工房まつり
- ・ツール・ド・みちのく 2008
- ・いものこまつり
- ・朝市サミット

(4) 展示資料室運営事業

地震風評被害以降減少傾向となった来場者の展示資料室入場促進対策として、資料室入場者へ南部煎餅のサービスを開始し好評を博した。

(5) 共用施設管理事業

盛岡市から、南部曲り家、駐車場・公園緑地・その他共益施設等の維持管理業務を受託し、センター施設との一体的な運営管理による相乗効果を図り、来場者の利便を高めた。

(6) 盛岡市委託事業 盛岡特産品ブランド認証事業

盛岡特産品ブランド認証事業の3年目となる平成20年度は、盛岡デーへの出展参加をはじめ、県内外の消費者に対し一層の浸透を図るため下記の諸事業を実施した。

盛岡特産品ブランド認証申請の募集

<募集期間>

- ・平成20年6月認証分の募集期間 平成20年2月15日～4月15日
- ・ " 10月 " 平成20年6月15日～8月15日

<募集方法>

- ・第1期 岩手日報紙新聞広告・ウェブサイトでの告知等
 - ・第2期 未申請事業所に募集文書の送付 31 件
岩手日報紙新聞広告・ウェブサイトでの告知等
- <平成 20 年度の認証事業所純増加数 12 事業所>
- ・累計 118 事業所
 - ・累計認証件数 155 件（一般認証 152 件・新商品 3 件）

盛岡特産品ブランド認証委員会の運営・開催

- ・第1回認証委員会 平成 20 年 5 月 14 日（第1期申請商品の審査会）
- ・第2回認証委員会 平成 20 年 9 月 30 日（第2期申請商品の審査会）

盛岡特産品ブランドプロモーション委員会の運営・開催

- ・第1回プロモーション委員会
平成 20 年 6 月 20 日（20 年度プロモーション企画の協議 他）

盛岡特産品ブランド認証商品の広告宣伝

- ・パンフレットの作成・配布 5,000 部印刷、盛岡デーなどで配布
- ・盛岡特産品ブランド"ウェブサイト"の運営、更新

販売促進催事の企画並びに出展

<盛岡市主催催事への出展>

- ・盛岡デー・イン東京 ジャスコ品川シーサイド店会場
会場：東京都 ジャスコ品川シーサイド店
会期：平成 20 年 6 月 27 日～6 月 29 日の 3 日間（出展 12 事業所）
- ・盛岡デー・イン東京「盛岡特産品ブランドフェア」
会場：東京都 いわて銀河プラザ
会期：平成 20 年 6 月 30 日～7 月 3 日の 4 日間（出展 4 事業所）
- ・盛岡デー・イン東京 板橋サティ会場
会場：東京都 板橋サティ
会期：平成 20 年 7 月 4 日～6 日の 3 日間（出展 14 事業所）
- ・盛岡市産業まつり
会場：盛岡市内 パルクアベニューカワトク 催事場
会期：平成 20 年 10 月 22 日～27 日の 6 日間（出展 1 事業所）
- ・文京博覧会 2008 物産展
会場：東京都 文京シビックセンター
会期：平成 20 年 11 月 8 日～10 日の 3 日間（出展 1 事業所）
- ・盛岡特産品ブランド「盛岡りんごフェア」
会場：東京都 いわて銀河プラザ
会期：平成 20 年 11 月 21 日～24 日の 4 日間（出展 4 事業所）
- ・盛岡デー・イン関西ジャスコ伊丹店会場
会場：兵庫県 ジャスコ伊丹テラス店
会期：平成 20 年 11 月 22 日～24 日の 3 日間（出展 17 事業所）

< 振興センター企画催事への出展 >

- ・盛岡特産品ブランドフェア「盛岡手づくり村展」
会場：盛岡手づくり村
会期：平成 20 年 5 月 3 日～5 日（盛岡手づくり村春まつり・9 事業所）
会期：平成 20 年 10 月 11 日～13 日（食文化フェア・12 事業所）
- ・岩手ものづくり市
会場：イオン盛岡 S C 内ジャスコ催事場
会期：平成 20 年 5 月 25 日～27 日の 3 日間（出展 7 事業所）
「盛岡手づくり村がサティにやってきた！」展
会場：イオン盛岡南 S C 内サティ盛岡南店
会期：平成 20 年 8 月 1 日～17 日の 17 日間（出展 15 事業所）
- ・沖縄県うるま市物産と観光フェア・盛岡フェア
会場：イオン盛岡ショッピングセンター内ジャスコ催事場
会期：平成 20 年 10 月 17 日～21 日の 5 日間（出展 4 事業所）
- ・「いわて食財の日」盛岡フェア
会場：イオン盛岡ショッピングセンター内ジャスコ催事場
会期：平成 20 年 10 月 24 日～26 日の 3 日間（出展 5 事業所）
- ・お歳暮セール盛岡りんごコーナー
会場：イオン盛岡ショッピングセンター内ジャスコ催事場
会期：平成 20 年 11 月 22 日～平成 21 年 1 月 6 日（出展 2 事業所）
- ・京王アートマン「盛岡手づくり村展」
会場：京王線府中駅 京王アートマン
会期：平成 20 年 11 月 17 日～23 日の 7 日間（出展 22 事業所）
- ・盛岡名産ギフト展
会場：イオン盛岡南 S C 内サティ盛岡南店
会期：平成 20 年 12 月 13 日～21 年 1 月 6 日の 24 日間（出展 6 事業所）

（7）人材育成事業

地場産業技術後継者の育成を進めているジバ・デザインプレナー塾生のオリジナルブランド M-color's（エムカラーズ）の作品を、中小機構が運営する都内表参道のアンテナショップ「Rin」に常設展示販売を開始し、販売実績を上げた。

併せて、塾生の作品を振興センターを会場として地場産業振興研究事業で開催した展示会「岩手の工芸 手仕事展」に出展し、盛岡地域を代表する工芸品企画・制作グループの位置づけを確固たるものとした。

また、盛岡市と岩手県中小企業団体中央会の財源による伝統工芸教室「盛岡竿制作教室」運営を担当し、盛岡竿の後継者確保に努めた。

「M-color's」作品のアンテナショップ出展販売

- ・出展期間 平成 20 年 4 月～21 年 3 月の通年（継続中）

- ・会 場 東京都港区北青山
地域資源テストマーケティングショップ Rin
 - ・出展作品 鍛造鉄漆器、漆塗りを施した爛瓶、卓上コンロ等
 - ・販売実績 6点 約 144,000 円
- 伝統工芸教室「盛岡竿教室」開催運営
- ・開催日時 平成 20 年 11 月 30 日（日）～ 21 年 3 月 8 日（日）
のべ 12 回 12:30～15:00
 - ・主 催 盛岡伝統工芸伝承の会（事務局：振興センター）
 - ・会 場 （財）盛岡地域地場産業振興センター 第 1 技術研修室
 - ・講 師 石澤 弘 氏（石澤釣具工房代表）
 - ・参加者 10 名

（ 8 ）情報機能強化事業

振興センターの総合紹介サイト「手づくり村ドットコム」では、メールマガジンの発行等と連動し、盛岡手づくり村トピックスコンテンツを頻繁に更新し、広くセンター催事等の周知を図った。

また、手づくり体験学習の内容等を掲載した「振興センターホームページ」の URL を体験学習事業関係の印刷物に掲載する等、学校関係者や旅行代理店に対して一層の活用を PR した。

振興センターホームページの運営

- ・総合的な手づくり村情報サイト「手づくり村ドットコム」
（ <http://tezukurimura.com/> ）
- ・携帯電話用手づくり村情報サイト
（ <http://tezukurimura.com/> ）
- ・体験学習の紹介をメインとした振興センター情報サイト
（ <http://www.isop.ne.jp/home/zibasan/center.htm> ）

その他インターネットの活用に係る事業

- ・盛岡手づくり村メールマガジンの発行（毎月 2 回）
- ・インターネット活用による情報収集提供
- ・E-mail 活用による迅速かつ効率的な情報伝達の推進
- ・携帯電話用 URL の QR コードの活用

（ 9 ）地場産業対策事業（盛岡市助成事業）

観光客の多く訪れる秋季行楽シーズンに、盛岡手づくり村を会場として盛岡地域の郷土料理や地酒等を一堂に会したイベント「いわてもりおか食文化フェア 2008」を開催し、地域の伝統食と併せ地場産品や農水産物の総合的な PR を図った。

開催日時

- ・盛岡手づくり村秋まつり「いわて盛岡食文化フェア」

平成 20 年 10 月 11 日（土）～13 日（月）の 3 日間 9:00～17:00

開催内容

- ・いわてもりおかうまいものフェア
盛岡広域をはじめとした県内新旧の食文化や県産の材料を使った食品、県内産農産物等の PR 販売を行った。
- ・いわての地酒試飲販売会（会場：振興センターロビー）
岩手県酒造組合と共催で岩手県内の地酒の試飲販売会を行い、岩手の地酒を PR した。
- ・お買いあげ感謝抽選会
振興センター展示即売室で地場産品お買いあげ 3,000 円毎に一回、地場産品が当たる抽選会を開催し、販売促進に努めた。
- ・お楽しみイベント
ご来場いただいたお客様に楽しんでいただける、来場者参加イベントや、郷土芸能などのショーを実施した。
- ・アロニア新商品発表会（会場：産直マルシェ・催し物広場）
盛岡市東部産アロニアを使用した、菓子やパン類などの商品を展示
・即売し、盛岡市産アロニア「もりおかベリー」の PR を行った。
- ・盛岡特産品ブランドフェア
盛岡特産品ブランド認証事業所の出展により盛岡特産品ブランド認証商品をはじめとした特産品の PR 販売を行った。

（10）岩手県委託事業 地場産業振興研究事業

盛岡地方振興局が、盛岡地域の工芸品振興策を構築するために設置した「盛岡地域地場産業振興研究会」会員として、振興策に対する提案や助言を行いながら、振興センターを会場とした展示会企画開催や県外に対する販路を広げる「県外ネットワーク形成事業」の実施委託を受け、下記の事業を行った。

異業種連携事例発表会

< 岩手の工芸 手仕事展～序章 >

- ・日時：平成 20 年 8 月 13 日（水）～15 日（金）9:00～17:00
- ・会場：盛岡地域地場産業振興センター 2 階研修室
- ・概要：出展グループ数 3 グループ、来場者数 約 500 名

< 岩手の工芸 手仕事展～工芸作家の魅力にせまる >

- ・日時：平成 20 年 10 月 11 日（土）～13 日（月）
- ・会場：盛岡地域地場産業振興センター 2 階研修室
- ・概要：出展グループ数 4 グループ、来場者数 約 650 名

首都圏販促専門家との交流会

< いわて手仕事交流フォーラム >

- ・日時：平成 20 年 10 月 10 日（金）14:00～18:30
- ・会場：盛岡地域地場産業振興センター 2 階研修室
- ・講師：田中 陽子 氏（ゆずりは代表）
山本 聖 氏
（中小機構全国推進事務局プロジェクトマネージャー）
杉原 広宣 氏
（株式会社リビング・デザインセンターマネージャー）
- ・ゲスト：鈴木 千春さん
（テストマーケティングショップ Rin サブマネージャー）
- ・参加者：工芸品業界関係者 32 名

（11）施設利用促進事業

各構成団体の他、各種団体等に施設の利用を呼び掛け、利用団体数と利用件数の拡大を図った。

【主な利用実績】

- ・日報カルチャースクール「男の料理教室」（岩手日報社）
- ・初夏の茶会勉強会（表千家宗月会）
- ・風景街道づくり協議会総会（NPO 秋田岩手横軸連携交流会）
- ・調理師料理講習（岩手県調理師会）
- ・しいたけ講習会（フードディスカバリー）
- ・親子料理教室（日交プロジェクト）
- ・洋菓子講習会（中央バター商会）
- ・お菓子づくり教室（岩麓会）
- ・菓子講習会（岩手県洋菓子協会）
- ・菓子研修会（岩手県菓子工業組合）
- ・俳句会（鶯の会）
- ・洋菓子実演セミナー（北沢産業）
- ・調理講習会（県立病院調理師会）
- ・洋菓子講習会（中央バター商会）
- ・神楽公演（邑計画事務所）

（12）アロニア関連商品開発事業

国の食料産業クラスター展開事業の認定を受け、本事業のコア企業として盛岡市東部で栽培された小果実「アロニア」の特産品化を図るため生産者や研究機関等と共同で、アロニア粉末を原料としたひつつみ、そば等の乾麺をテーマに研究開発を行った。

また、本事業にかかる新商品研究開発費については、いわて食料産業クラスター協議会（事務局：岩手県中小企業団体中央会）の指導をいただきながら、国の資金補助により実施した。

アロニア乾麺等、全国展開を目指す新商品の開発

アロニアひつつみ等、学校給食などでの大量消費を目指す新商品の開発

県内、首都圏などでの消費者アンケート調査の実施

産学官連携による新商品開発プロジェクト組織化の研究

2. 管理運営事業

振興センターは、盛岡地域の地場産業振興及び観光拠点施設として、県内外等からの来場者に利用されている。本年度も、環境整備や施設維持管理、食堂の運営による来場客へのサービス、各施設及び機能の充実を図った他、台湾・韓国・中国に対応する外国語パンフレットの配付による外国人観光客誘致を積極的に実施した。その他、通年で来場者へのアンケート調査を実施し、ニーズを把握するなど、事業の円滑な推進に努めた他、小岩井農場・つなぎ温泉・盛岡手づくり村の三施設連携事業「ワイワイ手つなぎプロジェクト」への参画や、周辺施設との連携協調に努めた。

また、全国地場産業振興センター協議会に参画し情報交換を図るとともに、地場産業振興センターの育成並びに中小企業振興策等について国、県に対して統一陳情、要望等を行った。

(1) 振興センター入場者への宣伝・紹介

センター入場者数・・・ 506,517人(対前年比 94.8%)

- ・ 入場者等への案内・説明・誘致宣伝活動
- ・ 観光客、視察来訪客への案内・説明
- ・ 台湾語・韓国語・中国語のパンフレットの配付
- ・ 旅行代理店との提携による入場者の誘致、及びパンフレット等送付
- ・ 外国人客へのパンフレット配布
- ・ マスメディア利用による宣伝・普及活動
- ・ 新聞、雑誌、ラジオ、テレビ等への広告、情報の提供及び取材協力

(2) 理事会・評議員会の開催

開催年月日	場所	会議名	会議内容
平成20年5月29日	盛岡市役所別館 4階403会議室	第1回 評議員会	平成19年度事業 報告、収支決算他
平成20年5月30日	盛岡市役所別館 4階403会議室	第1回 理事会	平成19年度事業 報告、収支決算他
平成21年3月26日	盛岡市役所別館 4階403会議室	第2回 評議員会	平成21年度事業 計画、収支予算他
平成21年3月30日	盛岡市役所別館 4階403会議室	第2回 理事会	平成21年度事業 計画、収支予算他

(3) 各施設利用案内、パンフ作成配付等

国内外からの来場者やエージェントに対し、パンフ並びにホームページによ

る各施設の利用案内を行った。

(4) 環境整備、施設維持管理

来場者に施設の満足度を高めていただくため手づくり花壇の運営や、ハンギングバスケットの設置、アジサイの植樹など環境整備に努めた他、施設内の清掃や冷暖房管理などの施設維持管理に努めた。

(5) 来場者アンケート調査の実施

来場者に愛される手づくり村にするため、常時アンケートコーナーを設置し、その意見、要望等を収集し、より良い施設づくりの一助とした。

(6) 各エージェント等への誘致宣伝活動

来場者の増大を図ることを目的として、東京・大阪・名古屋・北海道の旅行エージェントの他、宮城県の小中学校を対象に誘致宣伝を行った。

(7) 小岩井農場、つなぎ温泉、手づくり村連携事業「ワイワイ手つなぎプロジェクト」への参画

観光客の誘致を図るため、小岩井農場・つなぎ温泉・手づくり村が連携して進めている小岩井農場・つなぎ温泉・手づくり村連携事業「ワイワイ手つなぎプロジェクト」に参画し、「御所湖広域公園尾入野湿性植物園 蛍のお宿づくり事業」の推進に協力した他、手つなぎマップの制作、桜の植樹会各種イベントへの参加等の活動を行った。

(8) 全国地場産業振興センター協議会関係

総会への出席

- ・日 時 : 平成 20 年 7 月 10 日 (木)
- ・会 場 : 石川県地場産業振興センター新館 (石川県金沢市)
- ・議事内容 : 平成 19 年度事業報告・収支決算
平成 20 年度事業計画・収支予算等
次期役員を選任
次期総会開催地の決定等

(9) 盛岡地域地場産業振興研究会への参画

盛岡地方振興局が、盛岡地域の工芸品振興策を構築するために設置した「盛岡地域地場産業振興研究会」会員として、振興策に対する提案や助言を行い、平成 20 年度には振興センターを会場とした展示会企画開催や県外に対する販路を広げる「県外ネットワーク形成事業」の実施委託を受けることとなった。

(10) その他

- ・御所ダムとの連携による雫石川清流を守る会に参画し、御所湖周辺清掃活動を実施した。
- ・施設周辺の植栽整備

3. 収益事業

振興センター機能の充実を図り、安定的運営に資するため、マルシェにおける販売促進や、施設の賃貸・管理委託の継続による収入確保を図った。

(1) 販売促進事業

盛岡手づくり村産直「マルシェ」

盛岡手づくり村産直『マルシェ』においては、こだわりの商品の取り扱いや、業界関係者の新商品のPR、試食販売などに有効に使われた他、盛岡手づくりオリジナルアイス「なんじえら?」、「アロニア商品」の開発販売などに積極的に取り組みました。

また、新企画として取り組んだマルシェ内「レトルトカレー」は、県内産のレトルトカレーを一堂に集めたことから、その話題性でマスコミにも取り上げられ、リピーターのお客が増えるなど、注目を浴びることとなりました。

アロニア関連商品開発事業

アロニア関連商品開発3年目となる20年度は、市内砂子沢地区のアロニア総収穫量約900kg全量を買取り、前年度のより多くのアロニア関連商品を製造すると共に、積極的な販売・PRを行うことで現在ではアロニア関連商品が振興センターの主力商品となりました。

・新商品の開発並びに販売

アロニアジャム・アロニアタブレット・アロニアせんべい 他

・新商品の試作

アロニア乾麺（詳細はアロニア関連商品開発事業にて報告）

・アロニア関連商品の販売促進、PR

マスコミ各社に向けた新商品情報リリース

テレビニュースや新聞報道に対する報道協力

(2) 施設賃貸・管理委託事業

南部鉄器協同組合・ホテル大観への施設貸借の継続を行い、観光施設盛岡手づくり村としての魅力継続と収益事業の収入確保を図った。

・食堂の利用状況

郷土料理の提供を行った他、団体客の昼食に対応することで旅行者等への利便を図り、観光客の誘致に寄与した。

・ 利用者数 19,010人

・ 利用率 3.8%